

令和元年度

市政モニターアンケート調査結果  
【 公共施設マネジメントについて 】



長 崎 市  
資 産 経 営 室

## 1. 調査の目的

近年、人口の減少や厳しい財政状況の中で、公共施設の更新をどのように行うかが大きな課題となっています。そこで長崎市は、将来必要な行政サービスを維持し、暮らしやすいまちであり続けるために、公共施設を時代の変化に対応できるように見直していくという「公共施設マネジメント」の取り組みを進めています。

公共施設マネジメントを推進するにあたっては、市民のみなさまの理解を得ながら進めていくことが大切であり、これまで、広報ながさきに公共施設マネジメント特集号を折り込んだり、ホームページで周知を図ってきました。

今回のアンケートの回答から、認知度にどのような変化があるのか把握・分析し、今後、市民のみなさまにどのように周知していくかの参考とすることを目的としています。

## 2. 調査の概要

調査期間：令和元年 8 月 1 日 ～ 令和元年 8 月 19 日

送付数：227 人（郵送モニター 186 人 インターネットモニター 41 人）

回答率：71.8%（163 人）

（郵送モニター 151 人 インターネットモニター 12 人）

## 3. 調査結果

長崎市は平成 23 年度から公共施設マネジメントの取り組みを始め、これまで、広報ながさき・特集号チラシの折り込み、シンポジウムの開催、長崎市ホームページなど、様々な方法でお伝えしてきました。市民のみなさまへの認知度についても、取り組みを「知っている」と答えたかたは全体の 28.4%と、平成 29 年度の調査結果 20.7%と比べて向上していることから、認知度は高まってきていると考えています。（問 6 参照）

一方、公共施設を見直していくことについて、資産経営室作成のリーフレットを参照いただいたうえで賛否を尋ねたところ、「賛成である」「どちらかといえば賛成」を選択されたかたの割合は、98.1%と、平成 29 年度の調査結果 96.4%と同程度の高い数値を示しました。公共施設の見直しは多くの皆さんが必要性を認める課題であるといえます。（問 7 参照）

今後、市民のみなさまのご理解を得るための努力を重ねながら、公共施設マネジメントの取り組みを進めていきたいと考えています。

#### 4. 調査結果の見方

調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

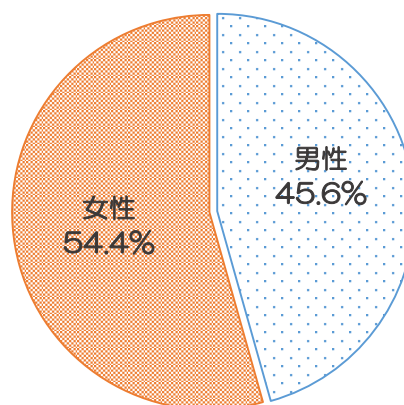
また、複数回答可とした設問においては、合計が100%を上回る場合があります。

なお、回答者数の異なる問については、回答者の数を「N=〇〇人」で表現しています。

##### 問1 あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答者数	割合
男性	73人	45.6%
女性	87人	54.4%
合計	160人	100.0%

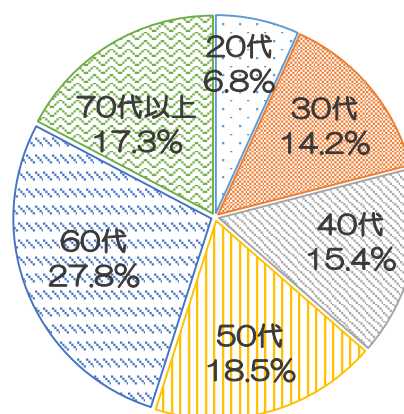
(無回答：3人)



##### 問2 あなたの年齢を選択してください。

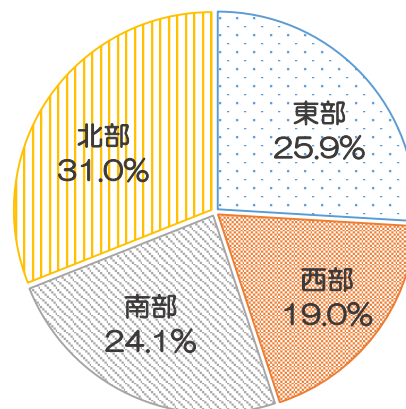
選択肢	回答者数	割合
20代	11人	6.8%
30代	23人	14.2%
40代	25人	15.4%
50代	30人	18.5%
60代	45人	27.8%
70代以上	28人	17.3%
合計	162人	100.0%

(無回答：1人)



問3 お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	41人	25.9%
西部	30人	19.0%
南部	38人	24.1%
北部	49人	31.0%
合計	158人	100.0%



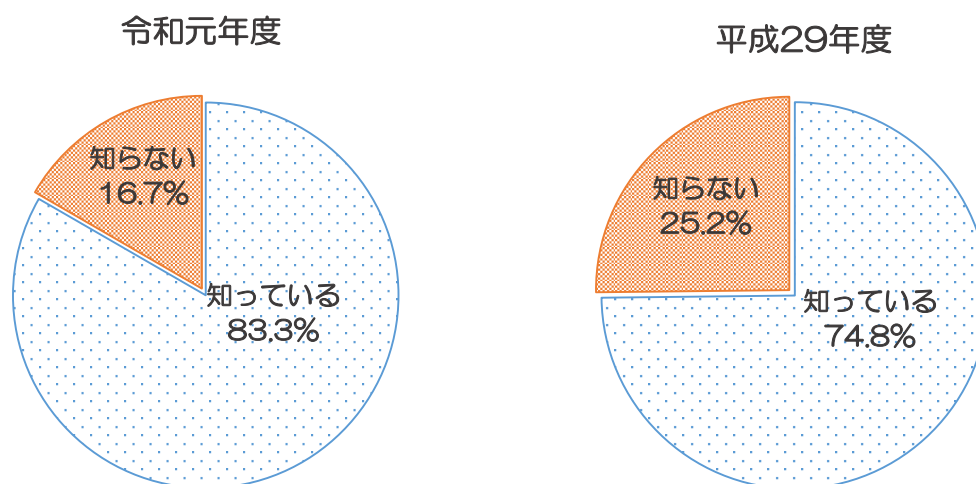
(無回答：5人)

※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

問4 高度経済成長期に整備された公共施設（国や自治体が設置・運営している施設）やインフラ（道路や橋など）が老朽化し、全国的な社会問題となっていることを知っていますか。（必須）

選択肢	令和元年度調査		＜参考＞平成29年度調査	
	回答者数	割合	回答者数	割合
知っている	135人	83.3%	104人	74.8%
知らない	27人	16.7%	35人	25.2%
合計	162人	100.0%	139人	100.0%

（無回答）令和元年度 1人 / 平成29年度 0人

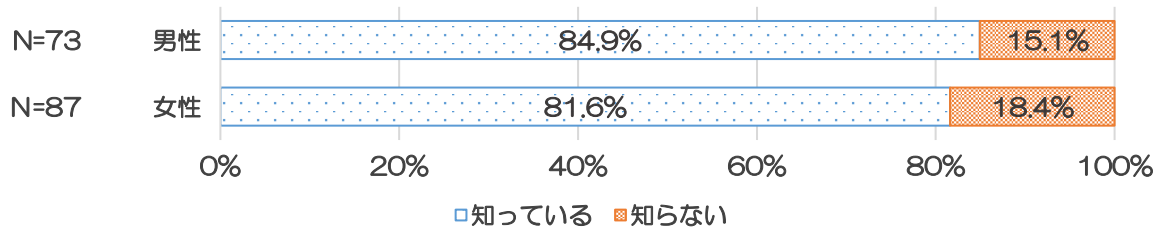


公共施設やインフラが老朽化し、全国的な社会問題となっていることを「知っている」と回答されたかたの割合は83.3%でした。

これは、平成29年度の調査と比べると8.5ポイント増加しています。

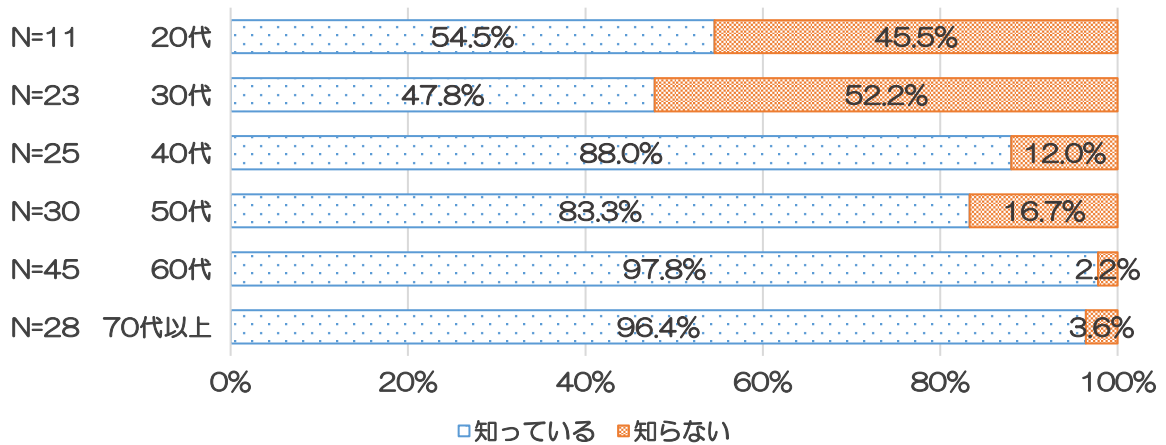
老朽化の問題について、これからも引き続き、市民の皆さまに理解していただけるようわかりやすい説明に努めていきます。

■「公共施設やインフラの老朽化問題の認知」の性別割合



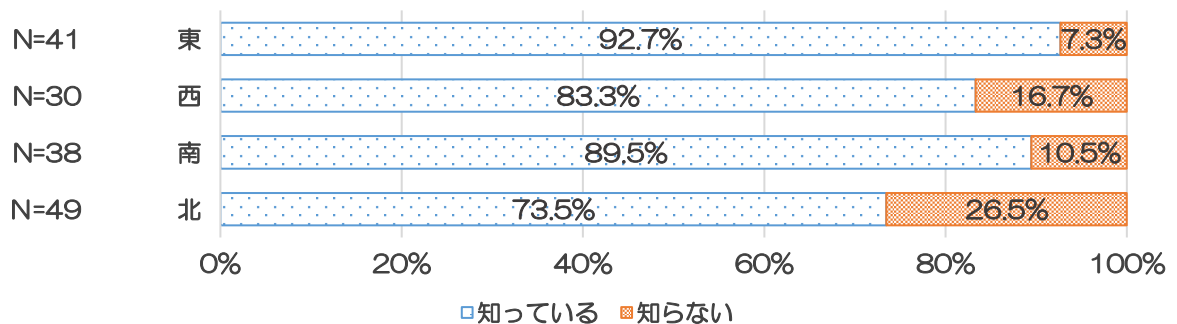
(無回答：3人)

■「公共施設やインフラの老朽化問題の認知」の年代別割合



(無回答：1人)

■「公共施設の老朽化問題の認知」の地域別割合



(無回答：5人)

性別でみると、「知っている」と回答した方は男性がやや高くなっています。

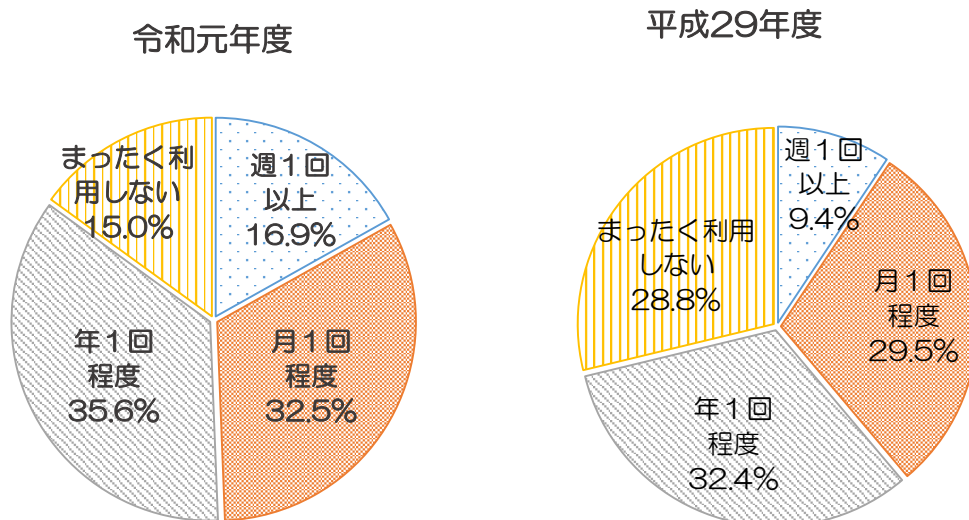
年代別にみると、おおむね年代が高いほど、「知っている」と回答した方の割合は高い傾向にあります。

地域別にみると、「知っている」と回答した方は、東部・南部が、西部・北部に比べてやや高くなっています。

問5 あなたが長崎市の公共施設（※）を利用する頻度をお答えください。※市立図書館・ふれあいセンター・公民館・市民体育館・老人憩の家・児童センター・本庁舎および支所など（必須）

選択肢	令和元年度調査		＜参考＞平成29年度調査	
	回答者数	割合	回答者数	割合
週1回以上	27人	16.9%	13人	9.4%
月1回程度	52人	32.5%	41人	29.5%
年1回程度	57人	35.6%	45人	32.4%
まったく利用しない	24人	15.0%	40人	28.8%
合計	160人	100.0%	139人	100.0%

（無回答）令和元年度 3人 / 平成29年度 0人

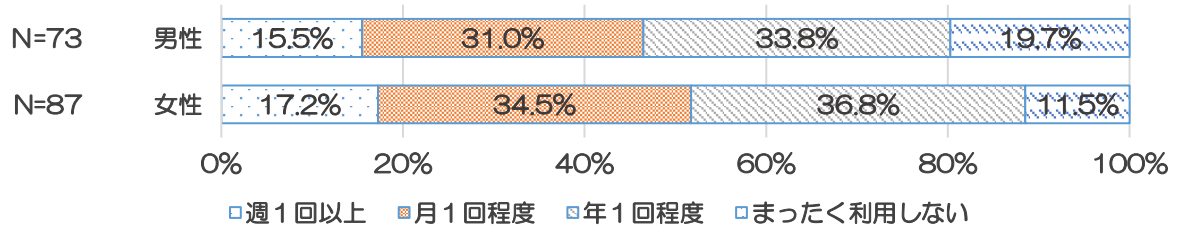


公共施設を利用する頻度について、「まったく利用しない」と回答されたかたの割合は15.0%であったのに対して、「週1回以上」と回答されたかたの割合は16.9%と少し割合が高い結果でした。

これは、平成29年度の調査と比べると7.5ポイント増加しています。

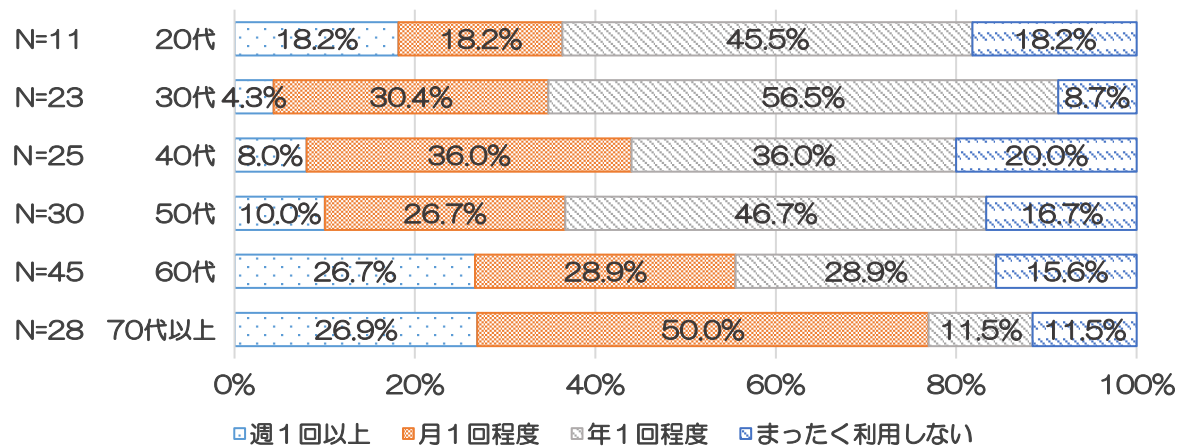
今後も、市民の皆さまが利用しやすい公共施設となれるよう適正に維持・管理していきたいと思います。

### ■「公共施設を利用する頻度」の性別割合



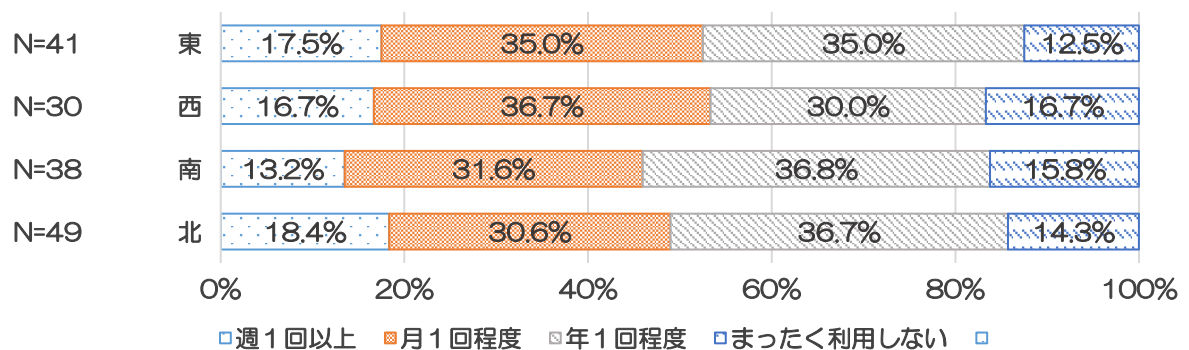
(無回答：3人)

### ■「公共施設を利用する頻度」の年代別割合



(無回答：1人)

### ■「公共施設を利用する頻度」の地域別割合



(無回答：5人)



性別で見ると、一番利用の多い「週1回以上」と回答されたかたの割合で、男性が15.5%に対し、女性が17.2%と、女性の方が高くなっています。

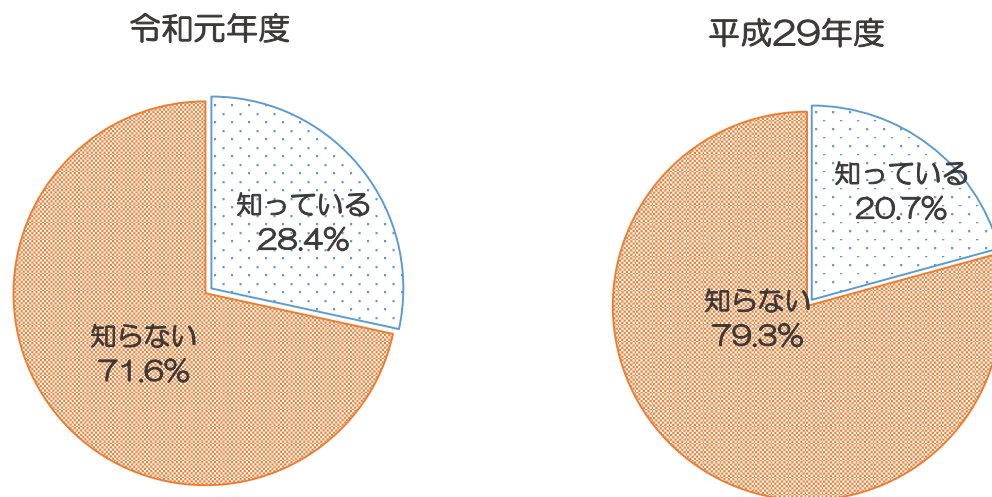
年代別にみると、「週1回以上」と回答されたかたの割合は、70代以上が26.9%と高く、最も低いのは30代の4.3%となりました。

地域別では、グラフのような傾向となっています。

問6 人口の減少や厳しい財政状況の中で、施設の更新をどのように行うかが大きな課題となっています。暮らしやすいまちであり続けるために、将来必要な行政サービスを維持し、公共施設を時代の変化に対応できるように見直していく「公共施設マネジメント」の取り組みを長崎市が進めていることを知っていますか。(必須)

選択肢	令和元年度調査		＜参考＞平成29年度調査	
	回答者数	割合	回答者数	割合
知っている	46人	28.4%	28人	20.7%
知らない	116人	71.6%	107人	79.3%
合計	162人	100.0%	139人	100.0%

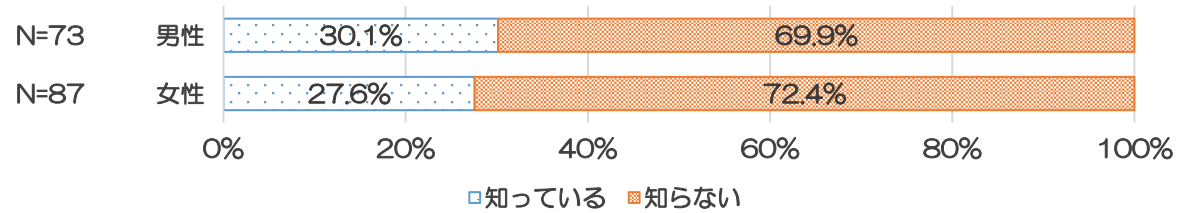
(無回答) 令和元年度 1人 / 平成29年度 0人



「公共施設マネジメント」の取り組みを長崎市が進めていることを「知っている」と回答した方の割合は、28.4%で、平成29年度の調査と比べ7.7ポイント増加しています。

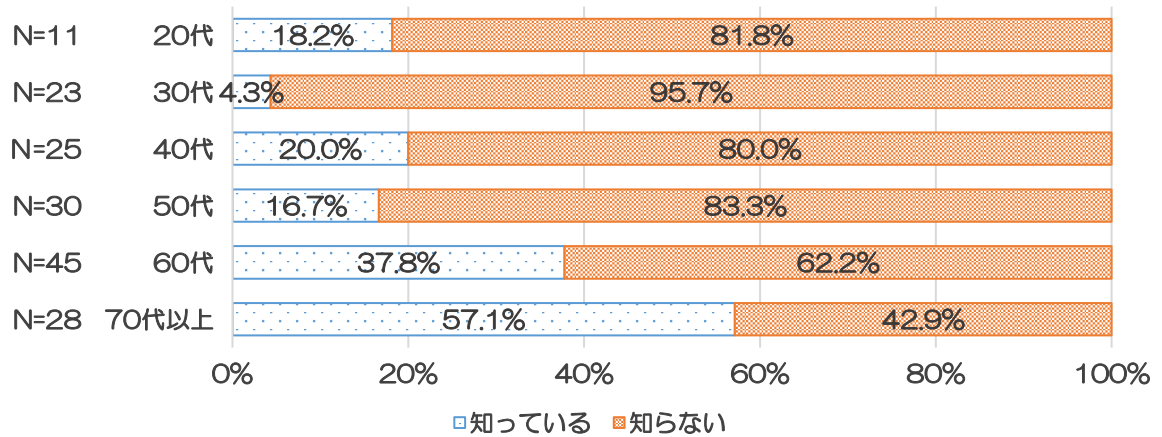
今後も、公共施設マネジメントについて市民の皆様にも一緒に考えていただけるよう、長崎市の取組みをよりわかりやすくお伝えしていきます。

■ 「長崎市の公共施設マネジメントの取組みの認知」の性別割合



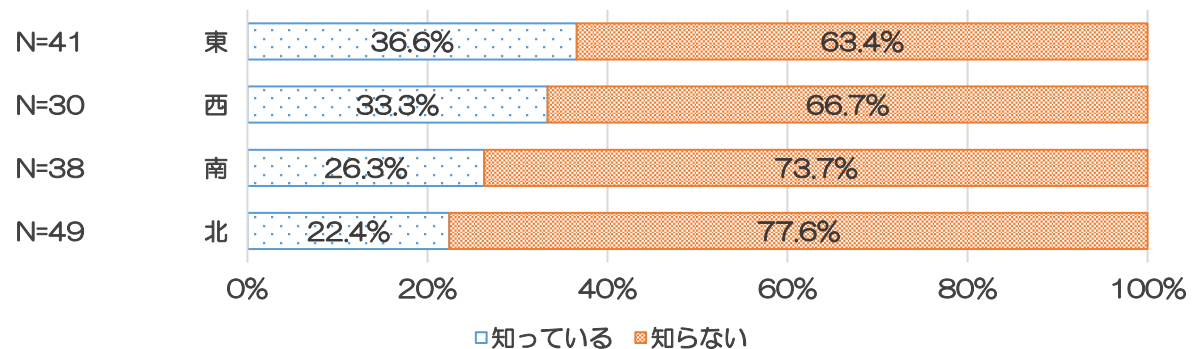
(無回答：3人)

■ 「長崎市の公共施設マネジメントの取組みの認知」の年代別割合



(無回答：1人)

■ 「長崎市の公共施設マネジメントの取組みの認知」の地域別割合



(無回答：5人)

性別で見ると、「知っている」と回答した方は、女性は27.6%に対して、男性が30.1%と高くなっています。

年代別にみると、「知っている」と回答した方は、20～50代が20%以下と割合

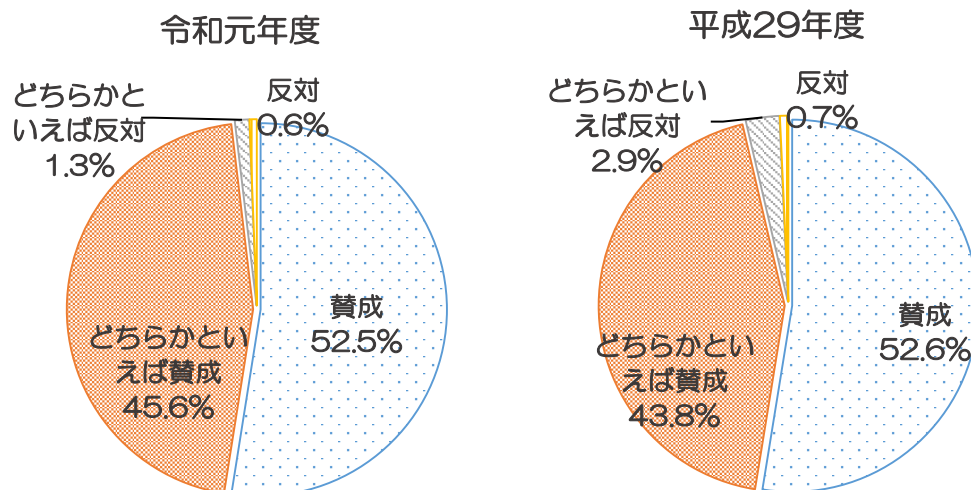
が低くなっているのに対して、60代は37.8%、70代以上は57.1%と割合が高くなっています。

地域別の傾向はグラフのとおりとなっています。

問7 添付しているリーフレット「どうなる？どうする？長崎市の公共施設」をご覧になってお答えください。施設の建替えや維持管理には多額の費用がかかるため、長崎市では、施設の統廃合や複合化（施設の多機能化）に取り組み、適正な配置と規模を見直して、必要な公共サービスを維持していく必要があります。この考え方についてどう思われますか。（必須）

選択肢	令和元年度 調査		＜参考＞平成 29 年度調査	
	回答者数	割合	回答者数	割合
賛成	84 人	52.5%	72 人	52.6%
どちらかといえば賛成	73 人	45.6%	60 人	43.8%
どちらかといえば反対	2 人	1.3%	4 人	2.9%
反対	1 人	0.6%	1 人	0.7%
合計	160 人	100%	139 人	100%

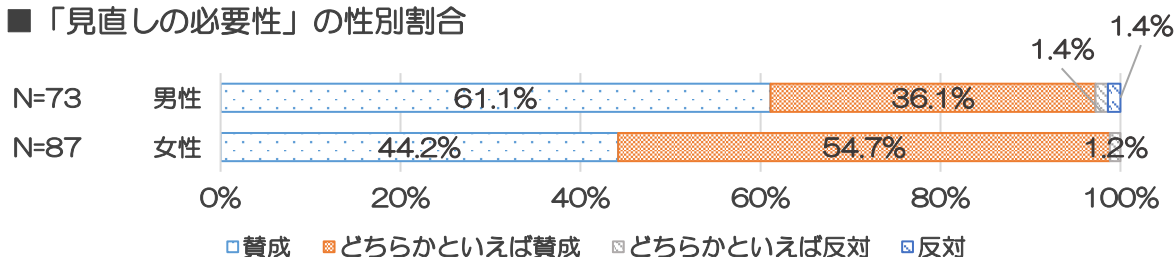
（無回答）令和元年度 3 人 / 平成 29 年度 0 人



「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答されたかたの割合を合わせると、98.1%で、平成 29 年度調査 96.4%よりも 1.7 ポイント高い割合となっています。「どちらかといえば反対」「反対」と回答されたかたの割合は、1.9%でした。

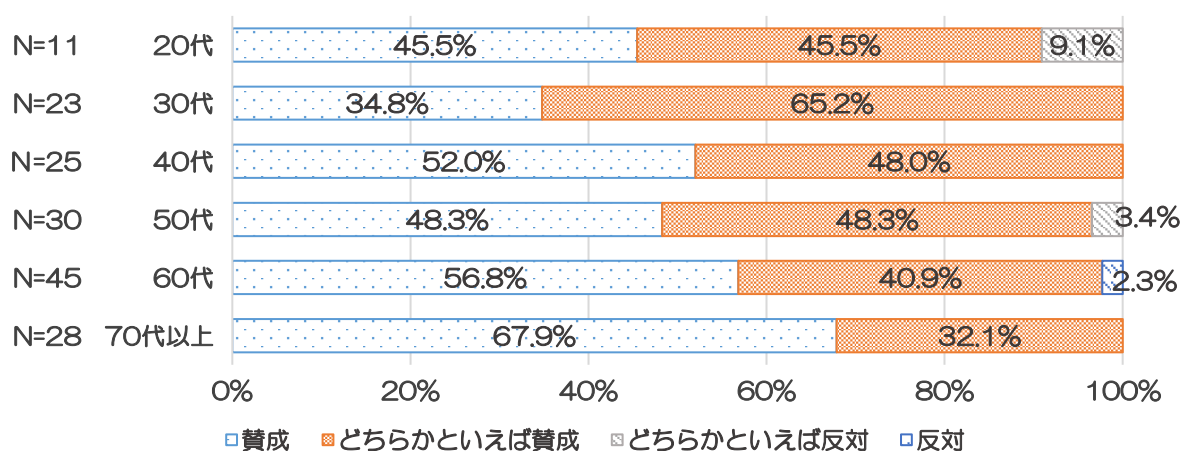
全体として、「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答されたかたの割合が高ことから、公共施設の見直しは多くの皆さんが必要性を認める課題であると考えられます。

### ■ 「見直しの必要性」の性別割合



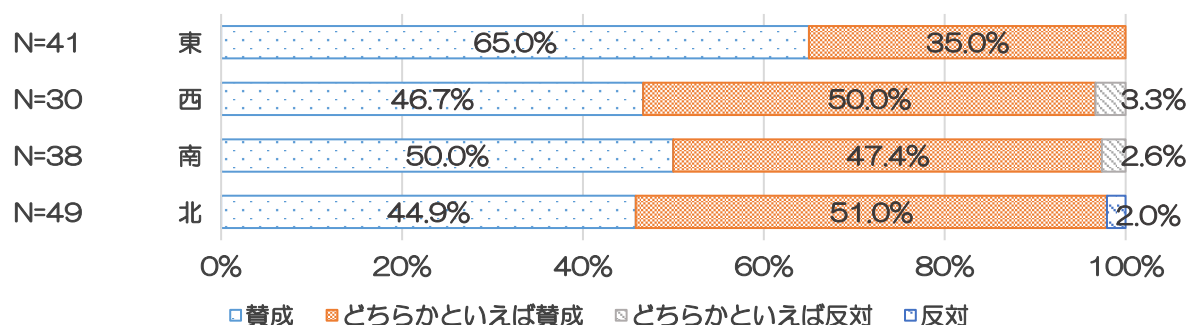
(無回答：3人)

### ■ 「見直しの必要性」の年代別割合



(無回答：1人)

### ■ 「見直しの必要性」の地域別割合



(無回答：5人)

性別で見ると、男性の方が女性に比べてより積極的な賛成の傾向がみられます。

年代別にみると、どの年代でも「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた賛成の意見が高い割合となっているなかで、20代は「どちらかといえば反対」の割合が9.1%となっています。

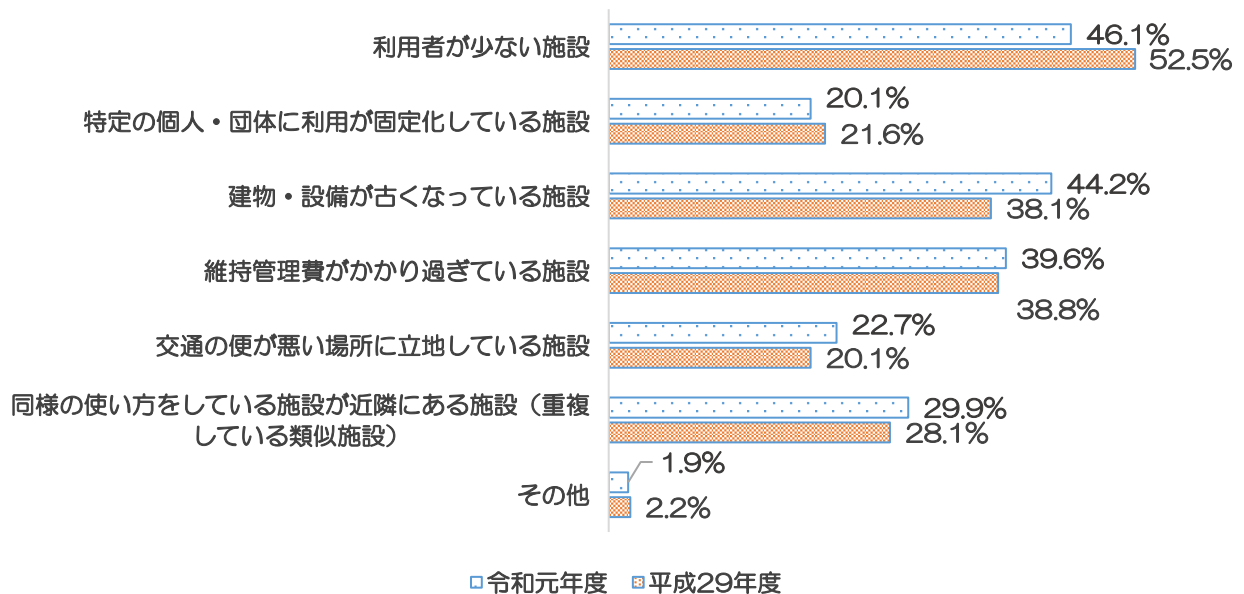
地域別の傾向はグラフのとおりです。

問8 「問7」で「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した方に質問です。どのような施設の統廃合や複合化を行うとよいと思われますか。あてはまるものを2つ選んでください。「その他」の場合は自由にお書きください。  
(必須)(複数回答可)

選択肢	令和元年度 調査		<参考>平成 29 年度調査	
	回答者数	割合	回答者数	割合
1.利用者が少ない施設	71 人	46.1%	73 人	52.5%
2.特定の個人・団体に利用が固定化している施設	31 人	20.1%	30 人	21.6%
3.建物・設備が古くなっている施設	68 人	44.2%	53 人	38.1%
4.維持管理費用がかかり過ぎている施設	61 人	39.6%	54 人	38.9%
5.交通の便が悪い場所に立地している施設	35 人	22.7%	28 人	20.1%
6.同様の使い方をしている施設が近隣にある施設(重複している類似施設)	46 人	29.9%	39 人	28.0%
7.その他(※)	3 人	1.9%	3 人	2.2%

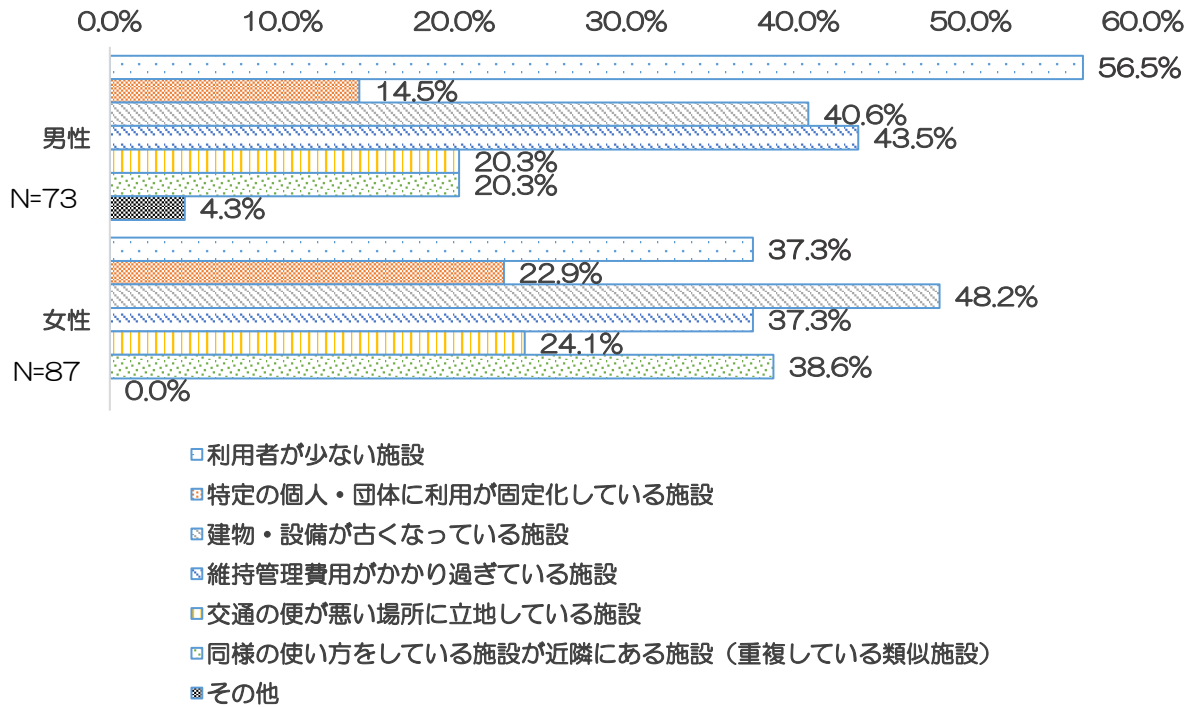
令和元年度 回答者数=154 人 / 平成 29 年度 回答者数=139 人

令和元年度 有効回答数=315 人 / 平成 29 年度 有効回答数=280 人

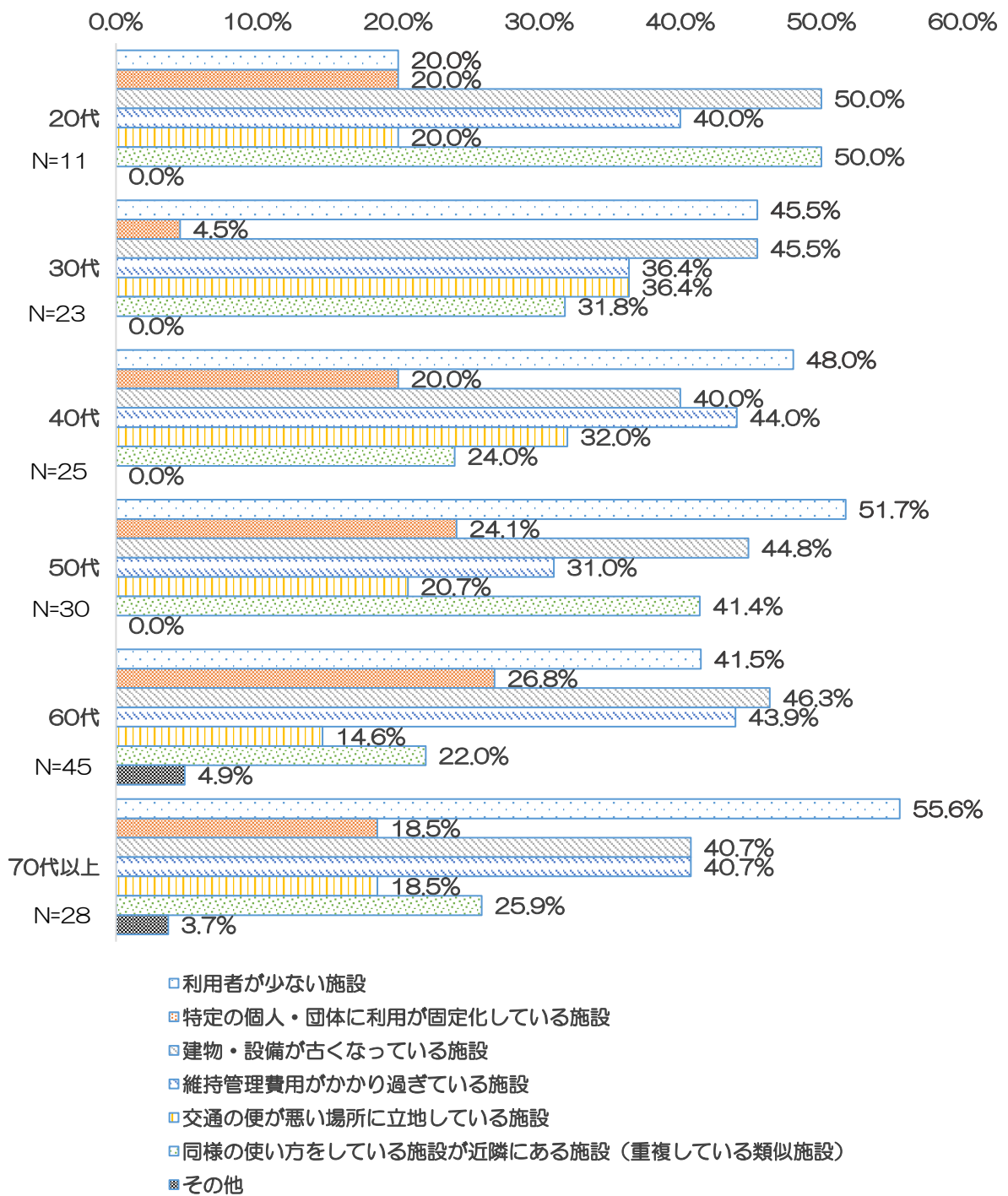


見直すべき施設としては、「利用者が少ない施設」と回答されたかたの割合がもっとも高く、次いで、「建物・設備が古くなっている施設」となっています。

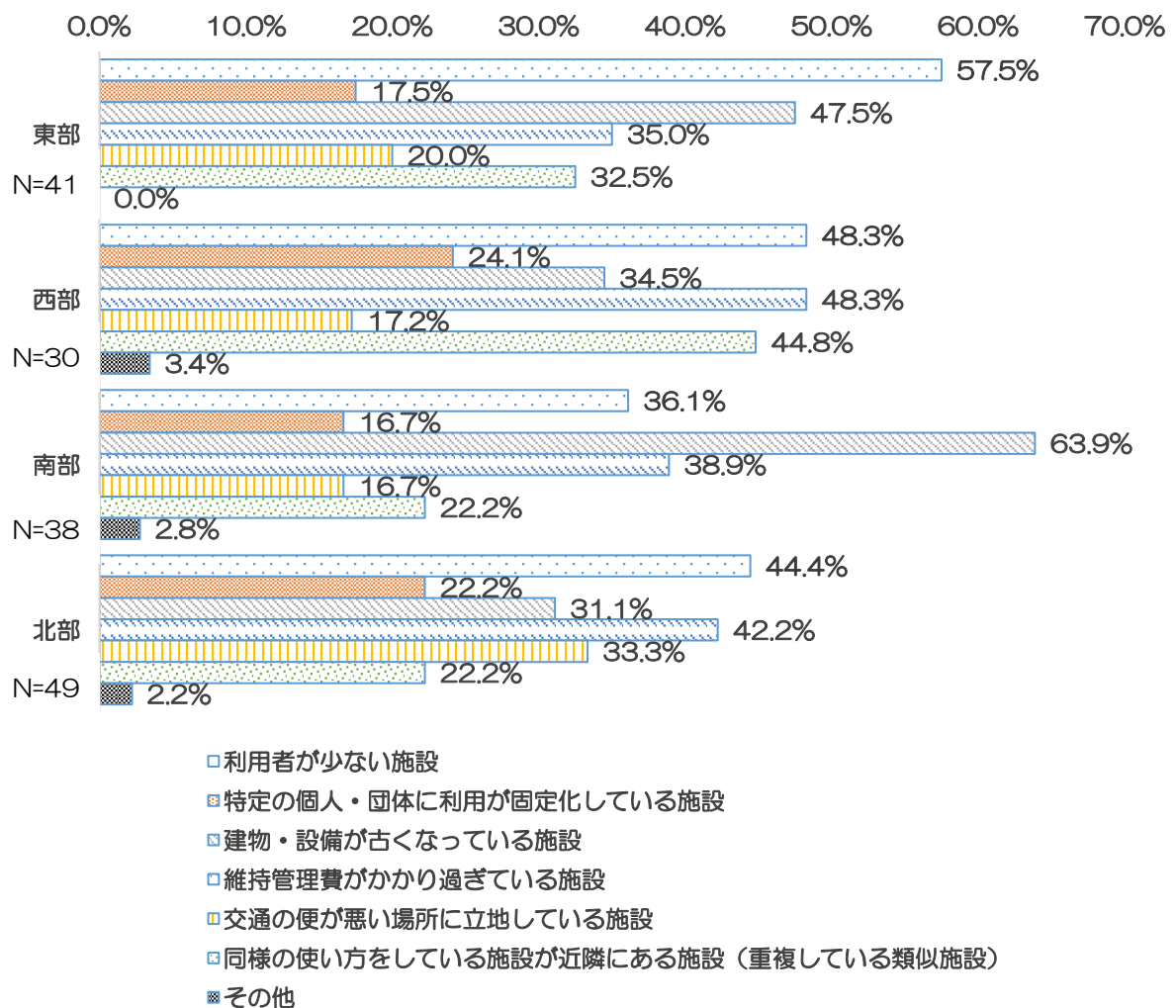
平成 29 年度の調査結果と比べると、「維持管理費がかかりすぎている施設」よりも「建物・設備が古くなっている施設」と回答された方の割合が高くなりました。



(無回答：3人)



(無回答：1人)



(無回答：5人)

性別で見ると、男性は「利用者が少ない施設」と回答された方が56.5%、女性は「建物・設備が古くなっている施設」と回答された方が48.2%で最も高い割合となっています。

年代別にみると、40代と50代、70代以上については「利用者が少ない施設」と回答された方がもっとも高い割合となっており、20代、60代では「建物・設備が古くなっている施設」と回答された方がもっとも高い割合となっています。

30代については、「利用者が少ない施設」と回答された方と、「建物・設備が古くなっている施設」と回答された方が同数見られました。

地域別の傾向はグラフのとおりです。

※「その他」の回答

- なぜ、上記の1～6までの状況になっているのか、把握していない施設。原因がわかれば改善策はあるのでは。



- 市民会館が、老朽化している。

問9 「問7」で「どちらかといえば反対」「反対」と回答した方に質問です。その理由をお書きください。

- 体育館やイベントができるような、楽しい場所が減ると困ります。ムダを削減しないといけないというのはわかるのですが。
- 財政状況が厳しい中、本来であれば既存施設のメンテナンスが優先されなければならないのに MICE 施設など赤字経営が予測される箱物に執着することは血税の無駄遣いではないのか！
- 利用者数とか交通の便等で決めることではないと思います。人口が少なくなってもその人達の「人間」が利用することが利用することが大切ではないかと。

問10 長崎市の公共施設マネジメントの取り組みについて、ご意見がございましたらお書きください。

- 現時点で、どの施設が整備、複合化の可能性はあるか候補があがっているのでしょうか？対象の施設によって賛成と反対がわかれると思います。
- 統廃合や、複合化できるところは積極的に行って、長崎市の狭い立地に余裕をもてる様にして、もっとUターン者や、観光者など活性化を図れる施設を作れるようにできたらと思います。
- 長崎市にとって、とても良いことだとおもうので、頑張ってください。
- 年令を問わず、誰もが気軽に利用できるマネジメントがあって欲しいと思います。
- 「利用者が少ない施設」「交通の便が悪い場所に立地している施設」も取り組みの対象になるとは思いますが、利用されている方がいらっしゃるので変わりになる施設の提供、情報の提供があれば幸いです。
- 交通の便が良い場所で、いろいろなことがまとめてできるよう一箇所にあると便利。
- 施設を複合化し、交通の便の良い場所に立地してもらえればと思います。
- クラウドファンディングで資金を集めることは法律上の問題等で難しいでしょうか？
- 考え自体には反対ではないが、多くの人々が不要だと感じている「MICE 施

設」を建築する長崎市のこの取り組みに対して冷ややかに見てしまう。

- これ以上、箱物の施設は必要ない。もっと市民の声に耳を傾け、必要とするものに税金を使ってほしい。
- 利用者数だけで統廃合をすると地方は全体数が少ないので真っ先にその対象となるでしょう。しかし地方にいかにか人を増やすか活性化させるかそれによっては、若年層の取り込みを長期的に行い、人口減少どころか流入の可能性だってあると思います。現在で言えば伊王島のアイランドルミナ etc.地方でもメディアで取り上げられる(全国的に) 所も有り、その近辺にまた大型の図書館(武雄などの様な)を造るなど人の流れを作る配置など良いかと思いません。
- 公共施設マネジメントの取り組みについて初めて知りました。使用していない施設や利用が少ない(あまり活用されていない)施設を再利用し市民がもっと利用しやすく、住みやすくなれば良いと思います。
- 財源が限られているので十分な精査を行った上で実行して欲しい、公共でない個人所有の廃屋と融合も考えて欲しい。
- 地域のお役立ちマップのようなものを作ることで、利用拡大につながらないかと思う。
- 施設の統廃合や複合化を行う前にコンビニで利用できる行政サービス等、施設に足を運ばないで受けられるサービスの充実と宣伝が必要では。既存のシステムを市民が十分認知・利用できる状態で統廃合や複合化を検討しないと正しい答えを出せないと思う。
- 複数の支所の一本化、電子帳表での簡素化、施設を同じ敷地に、財政、税収がますます減り同時に人員の減も行う。
- 全国的に大きな災害が増えています。公共施設も日常利用だけでなく防災を考えた施設としての設備を整えて欲しいと思います。複合化して施設が減るような事があっても、地域とのつながりは失わない工夫も必要だと思いません。
- 市民がたくさん利用できるように、使いやすい施設を望みます。
- 長崎市街全体の計画を図る中で、例えば公共交通機関のバス、電車のターミナルビルや停留所に複合施設を建設し、居住、商業施設、公共施設を合併させるなどはいかがでしょうか。その際は高齢者と子供達が交わる施設を組み合わせる大学生等の賃貸物件を組み入れ、ボランティア活動を促進できる、提案企画を推進させることなども良さそうと考えます。
- 市営団地等、年収によって退居となりますが、結局、若い人がどんどん出され年寄りだけになり、それでいいのか?だとしても空きのまま(長期間)であるのなら家賃をあげてもそのまま居れる様にした方がよいのでは?
- 人口が減少していく中で、費用対効果を十分に勘案頂き、適正な公共施設マ

ネジメントを実行いただきたいと思います。

- 書いても期待していませんが、家野町公園（ビバシティ家野町隣）で子供がボール遊びできるようにして欲しい。（フワフワボールでも家野町自治会から怒られる。小学生子供とサッカーのパスやキャッチボールしてもダメと言われる。おかしくないですか？
- 計画期間が15年間と長い道のりですが、地道にひとつずつ取り組んでいくことが、大事だと思います。
- 老人がふえる中、近くの施設を使う事が増えると思うので、大きくなくても施設があれば、便利だと思う。
- 良い事だと思います。
- 企業が少ない長崎にとっては、立替えは大変だと思うますので、広く、知識、能力を借りて、他県の成功例など詳査して下さいをお願いします。
- 市営住宅が過剰になっているとの事ですが、利便性の良い地にあって空き住宅になっている。自由にリノベーション出来る等、多様な工夫をして、現在の建物を生かすことも考えられる。
- 「公設民営」という隠れ蓑発言はもう通らない。他県からの来訪者の多くが長崎に入ったとたん「道路の不整備」に驚いています。長崎に住む市民が暮らしやすい、子育てしやすい、インフラ整備等にそろそろシフトすべきではないか。
- 人口減少、少子高齢化などで従来の大きな箱物を建てるという事は出来ないと思います。今までの公共施設の利用率を勘案して、スクラップアンドビルドを実施し、利用しやすい場所やバリアフリー等をほどこした公共施設を作っていたきたいと思います。
- 老人が利用できる公共施設を増やしてほしい。
- マネジメント？マネジメントやってるんですか。たとえば具体的にどんなマネジメントですか。公表すべきです。
- 公園など不特定多数の人が利用するトイレ、水道設備などの維持、管理、更新、増設に力を入れて欲しい。
- 公民館等の公共施設で定期的に管理事務員を募集していますが、募集は建前で実体は知り合いで決まってるように見受けられます。知り合いが業務運営上やり易いと思いますが、公共施設という観点からすれば如何なものでしょうか？
- メルカつきまちのような地域の活性化につながらない建物を作らないように地域の方の意見をよく聞いて計画をすることを望みます。
- 大型、複数の部屋等より、小さくても丈夫で少数でも利用する人達のことを（特に高齢者）考慮して下さい。
- 少子高齢化、人口減少化の折、施設の統配合複合化は必要と感じるか、個々の

施設がコンセプトを持った魅力的な場所になるよう計画してほしい。

- 大変ですが、まとめることは大切です。
- 人口減少。AIなどの発達に伴う省力化を考慮して、採用計画が過剰になって、財政圧迫にならないように配慮してほしい。公共施設は統廃合を効率よく考慮してほしい。
- 統廃合や複合化に賛成ですが、実行にあたっては、交通の便や駐車場（有料可）を考慮下さい。
- 足の便を良くしてほしい。高齢者は膝、腰など想像以上に老化してくるので余り歩かないようお願いします。
- 今回、同封のリーフレットで長崎市の取り組みについて初めて知りました。「子どもから高齢者まで、誰もが暮らしやすいまち」となるよう、行政と一般市民が暮らしやすいまち」となるよう、行政と一般市民が一緒になって考えていきたいですね、私もこれを機会に考えたいと思います。
- 建物等立替する場合は複合施設にして空地となった土地は売却された方が良いと考えられる。

今回お寄せいただいた多くのご意見は、今後の公共施設マネジメントの取り組みの参考とさせていただきたいと思います。

令和元年度 第2回  
市政モニターアンケート調査表

問1 あなたの性別をお答えください。

- 1 男性                      2 女性

問2 あなたの年齢をお答えください。

- 1 20代                      2 30代                      3 40代  
4 50代                      5 60代                      6 70代以上

問3 お住まいの町名をお答えください。

(例) 桜町 ※番地は不要です。

(                                      )

問4 高度経済成長期に整備された公共施設（国や自治体が設置・運営している施設）やインフラ（道路や橋など）が老朽化し、全国的な社会問題となっていることを知っていますか。

- 1 知っている                      2 知らない

問5 あなたが長崎市の公共施設（※）を利用する頻度をお答えください。

※市立図書館・ふれあいセンター・公民館・市民体育館・老人憩の家・児童センター・本庁舎および支所など

- 1 週1回以上                      2 月1回程度                      3 年1回程度  
4 まったく利用しない

問6 人口の減少や厳しい財政状況の中で、施設の更新をどのように行うかが大きな課題となっています。暮らしやすいまちであり続けるために、将来必要

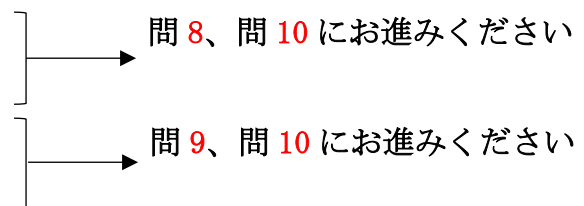
な行政サービスを維持し、公共施設を時代の変化に対応できるように見直していく「公共施設マネジメント」の取り組みを長崎市が進めていることを知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

同封のリーフレット「どうなる？どうする？長崎市の公共施設」をご覧ください。  
下の設問にお答えください。

問 7 施設の建替えや維持管理には多額の費用がかかるため、長崎市では、施設の統廃合や複合化（施設の多機能化）に取り組み、適正な配置と規模を見直して、必要な公共サービスを維持していく必要があると考えています。この考え方についてどう思われますか。

- 1 賛成
- 2 どちらかといえば賛成
- 3 どちらかといえば反対
- 4 反対



問 8 「問 7」で「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答したかたに質問です。どのような施設の統廃合や複合化を行うとよいと思われますか。あてはまるものを2つ選んでください。「その他」の場合は自由にお書きください。

- 1 利用者が少ない施設
- 2 特定の個人・団体に利用が固定化している施設
- 3 建物・設備が古くなっている施設
- 4 維持管理費用がかかり過ぎている施設
- 5 交通の便が悪い場所に立地している施設
- 6 同様の使い方をしている施設が近隣にある施設（重複している類似施設）
- 7 その他（ ）

問 9 「問 7」で「どちらかといえば反対」「反対」と回答したかたに質問です。その理由をお書きください。

[ ]

問 10 長崎市の公共施設マネジメントの取り組みについて、ご意見がございましたらお書きください。

[ ]